

リチャード・アレン



1965年2月14日生まれ ロンドン出身

◇主な職歴

1985～2005年 クラウン&マナークラブ

統括運営責任者、上級コーチなど

2005～2012年 トッテナム・ホットスパーFC

アカデミー部門スカウト部門最高責任者など

2012～2014年 QPR FC

アカデミーダイレクター (統括最高責任者)

2014～2017年 FA (イングランドサッカー協会)

タレントID (才能発掘及び育成) 最高責任者

2018～2021年 ラフバラ大学

フットボール統括ダイレクター

2022年～ 横浜FC

シニアクラブアドバイザー

▼主なコンサルタント業務

- トッテナムホットスパーFC「タレントIDに関するコーチ及びスカウト担当へのトレーニング (2018)
- UEFA AおよびBライセンスのコンテンツを開発 (2020/2021)
- イングランドサッカー連盟タレントID (レベル2、3、4、5-クラブスカウトからテクニカル/スポーツディレクター) コースの開発と提供 (2018-現在)
- Red Bull Leipzig-スカウティングコンサルタント (2018-2019)
- トヨタ/レクサス-ワークショップデリバリー (2018-現在)
- United Global Partners Ltd (日本)-日本でコーチング、コーチ教育、人材識別クリニックを実施 (2018-現在)
- FIFAエキスパートパネルメンバー (2021年-現在)



アカデミー部門
タレントID最高責任者



アカデミー統括最高責任者



タレントID最高責任者



専門家パネルメンバー



フットボール統括ダイレクター



リチャード・アレンは、日本へも2011年からサッカークリニックや講演、ワークショップなどで複数回来日しており、2022年からは横浜FCでシニアクラブアドバイザーとして、中長期的視野に立ったクラブの発展に従事しています。日本の印象については「日本人選手のプレースタイルやそのプレー基準は高く、多くの選手たちが他国のリーグで活躍するようになっていて発展している」とコメントしており「自分の経験と専門性が日本サッカーの発展の力になれるよう努めていきます」と日本サッカー発展への想いを語っています。

Football関連保有資格

FA Level 5, Technical Directors Award テクニカルダイレクター最上位

UEFA A Licence UEFA指導者ライセンスA級

UEFA Advanced Youth Award ユース以下の指導の最上位ライセンス

FA Academy Managers Licence U-18以下監督ライセンス

FA Developing the Developers Award 指導者養成コースのプログラム作成

FA Coach Educator 指導者養成コースでのインストラクター

リチャード・アレンは、グラスルーツから国際レベルまで、多様な役割でサッカーの様々なレベルで働いてきました。

トッテナム・ホットスパーズFCでは育成年代の選手たちの才能を発掘及び育成していくストラクチャーをより発展させ、現在イングランド代表主将であるハリー・ケインを10歳のときにスカウトしたり、同じくイングランド代表のハリー・ウィンクスなど多くの選手たちの才能を見出し、開花させていきました。

QPR (クイーンズパークレンジャーズ) では、アカデミーダイレクターとして着任からわずか6か月でリーグにおけるアカデミー査定をカテゴリー3からカテゴリー2に引き上げ、カテゴリー1 (最上位) に足りなかった部分はクラブ側のファシリティだけの部分というレベルまで発展させました。

イングランドサッカー協会 (FA) でも彼は才能を識別していくストラクチャー及び教育していくプログラムの作成を行い、そのプログラムによって選別及び育成されてきた選手たちの多くで構成されたチームであるU-17及びU-20イングランド代表チームは、2017年に各世代でのW杯で優勝しました。そして、2018年ロシアW杯ではイングランド代表チームは4位となり、2021年のEURO (欧州選手権) では過去最高位となる準優勝という成績を残し、2014年からリチャードが作成してきた才能発掘及び育成プログラムが成果を上げています。

イングランドサッカー協会では、スカウトやテクニカルダイレクター向けのライセンスコース (レベル1~5) も創出し、イングランドプレミアリーグなどのクラブで働く多くの強化担当者がそのコースを受講して資格を習得しています。

彼は2022年1月まで世界をリードするスポーツ大学の1つであるラフバラ大学でフットボール部門統括ダイレクターを務め、男性と女性のパフォーマンスプログラム、フットサル、レクリエーションの提供を含むサッカー部門の管理と指導を担当しながら、イングランドサッカー協会のコンサルタントも務めていました。

リチャードは、効果的な選手の特定、採用、育成の構造と戦略の設定に関して、多くのイングランド内統治機関や国内および海外のプロサッカークラブのコンサルタントを務めています。また、多くの理事会、委員会、公益信託に所属しており、英国サッカー協会評議会のメンバーでもあります。そして、ユース以下育成の充実を目指しているFIFAエキスパートパネルメンバーでもあり、そこで才能発掘と育成のエキスパートとしての役割を担っています。



- ボズナンコーチングカンファレンス-(2009)-ボズナン-全国コーチング教育カンファレンス-「トッテナムホットスパーでの若い選手の特定と育成」
対象：コーチ
- FAタレント識別会議-セントジョージズパーク-2015-「相対的な年齢効果と成熟を
保証するタレントIDの構造とプロセス」
対象：プロフェッショナルクラブスカウトと才能識別エキスパート
- FAタレント識別会議-セントジョージズパーク-2016-パートナーシップの作成
対象：プロフェッショナルクラブスカウトと才能識別エキスパート
- ラフバラ大学 (2020)-ラフバラ大学-「ネットワークの開発」
対象：コーチおよびボランティアアカデミーのメンバー
- リーグマネージャー協会 (2017)-ウエンブリー-「FAのタレントIDと選考プロセス」
対象：リーグマネージャーとヘッドコーチ
- トルコサッカー連盟 (2016)-イスタンブール
対象：ナショナルコーチ
- UEFAプロライセンス (2015、2016、2017)-チェコ共和国、ポーランド、フランス)-
「人材識別戦略と構造の作成と開発」
対象：UEFAプロライセンス候補
- フィンランドのFA (2018)-全国コーチング会議-ヘルシンキ-「強力な人材識別
構造と選択プロセスの作成」
対象：全国コーチ
- ラフバラ大学「スポーツエージェントの専門家証明書」(2018、2019、2020)
-ラフバラロンドン-「パフォーマンスと可能性」および「腐敗およびエージェント市場」
対象：潜在的なスポーツエージェント